

患者さんへの臨床研究のお知らせ

自治医科大学附属さいたま医療センター 一般・消化器外科では、下記の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】

消化器外科術後創感染および腹壁癒痕ヘルニアの危険因子の検討

【研究責任者】

自治医科大学附属さいたま医療センター 一般・消化器外科 教授 力山敏樹

【研究の対象となる方】

2014年3月から2017年3月および2019年6月から2022年3月の間に当院で消化器外科手術を受け、当科で実施した2つの臨床研究①抗菌縫合糸の使用による手術部位感染(surgical site infection;SSI) 発生率低減の研究②手術切開による創傷に対するヨードホール水溶液洗浄のSurgical Site Infection低減効果の検証、のいずれかに参加いただいた患者さんの内、予定通りの手術(準清潔創)を受けられた患者さんです。

【研究の目的・方法】

患者さんの手術前、手術中、手術後の臨床情報をカルテから収集し、術後創感染および腹壁癒痕ヘルニアの危険因子を検討します。

【研究に用いる情報の種類】

- 1 年齢、性別、喫煙・飲酒歴、既往歴、合併症、併用薬、米国麻酔学会の術前身体状態(ASA PS)、ステロイド・免疫抑制剤内服、術前化学療法の既往、等。
- 2 身長、体重、血圧、BMI等。
- 3 臨床検査 血液学的検査(赤血球数、ヘモグロビン値、白血球数、リンパ球数、血小板数、等) 生化学検査(総蛋白、血清アルブミン、CRP、クレアチニン、血糖、等)。
- 4 周術期治療成績 術式、予防的抗菌薬の投与の有無と種類、治療的抗菌薬の投与の有無と種類、縫合糸の種類、術中創洗浄の方法、手術時間、出血量、輸血の有無、経腸栄養の有無、術後合併症の有無と種類、術後在院死亡の有無、術後在院日数、等。
- 5 胸部CT画像、腹部CT画像等。
- 6 病理組織学的検査(病理組織学的診断結果)。
- 7 細菌学的検査(手術創、閉鎖創、開放創、腹水、胆汁、動脈、静脈、尿等の一般細菌鏡検・培養検査結果等)。

【研究期間】

この研究の期間は、2022年11月14日から2027年3月31日までです。

【本研究に関する問い合わせ】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、情報が当該研

究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としません
ので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも
患者さんに不利益が生じることはありません。

お問い合わせ先

〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847

自治医科大学附属さいたま医療センター

TEL048-647-2111

研究担当者：一般・消化器外科（氏名）野田弘志

苦情の窓口

自治医科大学附属さいたま医療センター

総務課 TEL048-648-5225